



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤ハム株式会社

コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	221,020	3.8	1,544	△21.7	1,743	8.0	1,493	190.0
25年3月期第2四半期	212,958	△4.0	1,972	291.8	1,614	29.7	515	110.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,996百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 170百万円 (103.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.91	6.90
25年3月期第2四半期	2.23	2.23

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
26年3月期第2四半期	199,364		117,528			58.6
25年3月期	205,350		116,841			56.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 116,821百万円 25年3月期 116,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	456,000	3.9	7,000	23.7	8,000	42.1	5,200	25.4	24.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期第2四半期	221,020	1,544	1,743	1,493	6.91
平成25年3月期第2四半期	212,958	1,972	1,614	515	2.23
増減率	3.8%	△21.7%	8.0%	190.0%	209.9%

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）のわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和などの効果による円安や株高が進行し、輸出関連産業を中心とした企業収益が改善するなど緩やかな回復基調となりましたが、消費税率の引き上げに対する影響懸念、新興国など海外経済の停滞等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料価格の高騰や電気・ガス等のエネルギーコストが上昇する中で、企業間の販売競争が激化する極めて厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、中期経営計画「CNV2015」の3年目となり、当年度の基本方針である「成長戦略へ軸足を移す」「業務改革のスピードを上げ現場力を更に強化する」「ワークライフバランスの充実を図り人材力を強化する」「企業ブランドの更なる強化」の4つに対し、全社一丸となって着実且つスピード感を持って具体策を実行しております。成長戦略の一施策として、中食・外食チャネルへの売上拡大に向けて組織再編による体制の強化を図るとともに、茨城県には新たな拠点として取手工場が完成し、稼働を開始しております。なお、原材料価格等のコスト上昇に対しては、全社を挙げてコスト削減に努力を重ねておりますが、品質の高い商品を提供し続けるために、8月より価格改定を実施させていただいております。

当第2四半期の連結業績につきましては、売上高は、主力商品の拡販に注力したハム・ソーセージは売上が好調に推移して前年同期に比べて3.8%増、調理加工食品ほかは、一部の外食産業向けの売上が減少したことにより前年同期に比べて5.7%減、また食肉は国内相場が総じて前年を上回る水準で推移したことや鶏肉の販売量が増加したことにより前年同期に比べて7.8%増となった結果、売上高全体としては前年同期より80億6千2百万円増加して2,210億2千万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益は、売上高が増加したものの、加工用原材料の価格高騰や食肉の調達コストの上昇等による利益率の低下が影響し、前年同期に比べて12億1千9百万円減少して391億9千8百万円（前年同期比3.0%減）となりました。また営業利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの、前年同期に比べて4億2千8百万円減少して15億4千4百万円（前年同期比21.7%減）となりました。経常利益につきましては、持分法による投資損益が改善したことにより、前年同期に比べて1億2千9百万円増加して17億4千3百万円（前年同期比8.0%増）、四半期純利益は、遊休資産の売却益等もあり、前年同期に比べて9億7千8百万円増加して14億9千3百万円（前年同期比190.0%増）となりました。

〔セグメント別の概況〕

(加工食品事業本部)

ハム・ソーセージにつきましては、主力商品である「アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」や、「醇」「ベルガヴルストシリーズ」のキャンペーンを実施し販売拡大を図ったことに加え、定番商品の強化を図るため、ロングセラー商品「ポークビッツ」のテレビコマーシャルを投入し、販売促進やブランド力強化に取り組みました。また、ギフトにつきましても、主力ブランドである「伝承シリーズ」に加え、ローストビーフギフト「エンブレム」を発売し、販売促進に取り組んでまいりました結果、ハム・ソーセージ全体としては、前年同期より売上高は増加いたしました。

調理加工食品につきましては、「ラ・ピッツアシリーズ」や製法にこだわったハンバーグ「旨包シリーズ」などを投入し、売上拡大を目指しましたが、外食産業向けの「チキン商品」の売上が大きく減少したことが影響し、調理加工食品全体としては前年同期に比べて売上高は減少いたしました。

この結果、加工食品事業本部の外部顧客に対する売上高は、1,188億3千6百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は17億1千4百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

（食肉事業本部）

食肉事業につきましては輸入食肉の生産国での相場高及び円安により調達コストが高騰した影響で、各畜種ともに国内の相場は総じて前年を上回り推移する展開となりました。

国産牛肉は全国的な出荷頭数の減少が継続しているため、安定的な頭数確保が厳しい状態となっておりますが、当社の強みである和牛につきましては順調に販売数量を伸ばしました。

一方で輸入牛肉は、2月の米国産の輸入月齢緩和によって販売数量の増加を見込んでおりましたが、調達コストの高騰及びチルドビーフの輸入数量増加による相場環境の悪化によって、前年の販売数量を若干ながら下回りました。また、輸入豚肉につきましては全体的に販売数量が減少しましたが、国産豚肉につきましては、こだわりの銘柄豚の「薩摩錦ぼーく」や鹿児島黒豚「黒の匠」等を中心に拡販を図り、前年並みの販売数量となりました。鶏肉につきましては需給の変化と採算性を重視した販売戦略により、国産鶏肉・輸入鶏肉とも順調に販売数量を伸ばしました。

この結果、食肉事業本部の外部顧客に対する売上高は、1,021億8百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は1億2千1百万円の損失（前年同期は2億3千8百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて59億8千6百万円減少し、1,993億6千4百万円となりました。これは主に、有価証券（短期運用預金等）の減少とたな卸資産の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて66億7千3百万円減少し、818億3千6百万円となりました。これは主に、仕入債務及び未払金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億8千7百万円増加し、1,175億2千8百万円となりました。これは主に、自己株式の取得とその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より148億2千1百万円減少し、147億2千4百万円となりました。

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は114億8千2百万円（前年同期は44億2千1百万円の収入）となりました。これは主に、たな卸資産の増加109億6千2百万円、仕入債務の減少36億3千7百万円、未払金の減少20億7千3百万円の減少要因と、税金等調整前四半期純利益22億6千万円、非資金項目の減価償却費26億4百万円、売上債権の減少33億3千5百万円の増加要因によるものであります。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、得られた資金は1億5千7百万円（前年同期は10億6千7百万円の支出）となりました。これは主に、不動産等有形固定資産の売却による24億3千3百万円の収入と、既設工場の設備更新等有形固定資産の取得による20億9千4百万円の支出によるものであります。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は37億2千6百万円（前年同期は32億4千4百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出22億1千8百万円、配当金の支払いによる支出10億9千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社は、当社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,468	12,694
受取手形及び売掛金	48,838	45,439
有価証券	19,000	3,000
商品及び製品	25,521	34,896
仕掛品	364	524
原材料及び貯蔵品	10,186	11,707
その他	4,789	5,308
貸倒引当金	△64	△59
流動資産合計	120,105	113,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,312	17,144
機械装置及び運搬具(純額)	10,781	10,526
工具、器具及び備品(純額)	679	706
土地	16,092	14,422
リース資産(純額)	1,260	1,227
その他(純額)	430	644
有形固定資産合計	45,557	44,672
無形固定資産		
その他	1,563	1,470
無形固定資産合計	1,563	1,470
投資その他の資産		
投資有価証券	25,335	27,239
その他	13,537	13,064
貸倒引当金	△747	△592
投資その他の資産合計	38,125	39,710
固定資産合計	85,245	85,853
資産合計	205,350	199,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,328	34,717
短期借入金	340	122
未払法人税等	1,581	889
賞与引当金	2,914	2,526
資産除去債務	54	13
その他	14,463	13,100
流動負債合計	57,683	51,368
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,569	16,586
退職給付引当金	207	192
債務保証損失引当金	775	589
資産除去債務	865	873
その他	2,408	2,225
固定負債合計	30,826	30,467
負債合計	88,509	81,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,047	30,047
利益剰余金	64,563	64,948
自己株式	△9,974	△12,180
株主資本合計	113,064	111,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,551	4,151
繰延ヘッジ損益	360	33
為替換算調整勘定	△787	1,393
その他の包括利益累計額合計	3,124	5,578
新株予約権	75	91
少数株主持分	576	615
純資産合計	116,841	117,528
負債純資産合計	205,350	199,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	212,958	221,020
売上原価	172,539	181,821
売上総利益	40,418	39,198
販売費及び一般管理費	38,446	37,654
営業利益	1,972	1,544
営業外収益		
受取利息	49	55
受取配当金	168	131
受取賃貸料	231	232
その他	350	224
営業外収益合計	798	643
営業外費用		
支払利息	139	122
不動産賃貸費用	91	80
持分法による投資損失	836	204
その他	90	37
営業外費用合計	1,157	444
経常利益	1,614	1,743
特別利益		
固定資産売却益	126	725
投資有価証券売却益	486	2
債務保証損失引当金戻入額	59	185
その他	4	—
特別利益合計	677	913
特別損失		
固定資産売却損	12	3
固定資産除却損	106	190
投資有価証券売却損	1	112
厚生年金基金脱退拠出金	534	—
事業構造改革費用	166	67
その他	31	23
特別損失合計	852	396
税金等調整前四半期純利益	1,439	2,260
法人税等	877	720
少数株主損益調整前四半期純利益	561	1,539
少数株主利益	46	46
四半期純利益	515	1,493

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	561	1,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△894	602
繰延ヘッジ損益	△130	△327
為替換算調整勘定	68	562
持分法適用会社に対する持分相当額	564	1,618
その他の包括利益合計	△391	2,456
四半期包括利益	170	3,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123	3,947
少数株主に係る四半期包括利益	46	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,439	2,260
減価償却費	2,693	2,604
受取利息及び受取配当金	△217	△186
支払利息	139	122
持分法による投資損益(△は益)	836	204
固定資産売却損益(△は益)	△113	△722
厚生年金基金脱退拠出金	534	—
事業構造改革費用	166	67
売上債権の増減額(△は増加)	△1,755	3,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,611	△10,962
仕入債務の増減額(△は減少)	5,621	△3,637
未払金の増減額(△は減少)	639	△2,073
未払消費税等の増減額(△は減少)	△314	△238
その他	△150	△1,232
小計	4,905	△10,458
利息及び配当金の受取額	430	301
利息の支払額	△156	△121
補償金の受取額	—	332
事業構造改革費用の支払額	△166	△32
法人税等の支払額	△592	△1,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,421	△11,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60	△866
定期預金の払戻による収入	70	828
有形固定資産の取得による支出	△2,233	△2,094
有形固定資産の売却による収入	620	2,433
無形固定資産の取得による支出	△152	△130
投資有価証券の取得による支出	△254	△29
投資有価証券の売却及び償還による収入	925	62
関係会社株式の売却による収入	228	202
その他	△211	△247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,067	157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△665	△217
長期借入れによる収入	300	500
長期借入金の返済による支出	△347	△344
社債の発行による収入	9,944	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△1,466	△2,218
配当金の支払額	△701	△1,091
リース債務の返済による支出	△286	△340
その他	△21	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,244	△3,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	131	△14,821
現金及び現金同等物の期首残高	26,285	29,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,417	14,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,410	95,287	212,698	259	212,958	—	212,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,670	39,680	41,351	619	41,970	△41,970	—
計	119,081	134,968	254,049	879	254,928	△41,970	212,958
セグメント利益 又は損失(△)	2,222	△238	1,984	8	1,992	△20	1,972

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	118,836	102,108	220,945	75	221,020	—	221,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,967	41,452	43,420	150	43,570	△43,570	—
計	120,804	143,561	264,365	226	264,591	△43,570	221,020
セグメント利益 又は損失(△)	1,714	△121	1,592	39	1,632	△87	1,544

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年4月1日付で、伊藤ハムミート販売東(株)の一部組織を、当社フードサービス営業本部に移管いたしました。この組織再編に伴って、「食肉事業本部」に含めていた当該組織を「加工食品事業本部」に区分変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

【関連情報】

商品分類別の売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減	
	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		(%)
ハム・ソーセージ	57,997	60,191	2,193	3.8
食 肉	108,621	117,145	8,523	7.8
調理加工食品ほか	46,339	43,684	△ 2,655	△ 5.7
合 計	212,958	221,020	8,062	3.8